

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・フェニックスグループとして大きな理念があり、それを基にそれぞれの部署ごとに理念がある。又、毎年理念に対する目標もかかげている。	○	・GH私の部屋の目標「笑顔溢れる環境を通してケアの充実を図る」 ・地域の中でその人本来の望みが遂げられる環境作り
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・具体的な方針や目標を日常的に意識できるよう目のつくところに掲示し、日頃から話合う機会を持っている。		・自己評価を年2回行い、職員全員で確認している。 ・法人組織、各部署での学習会は毎月行っている。(毎月のカンファレンス)
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	・入居時、ご家族へ説明し、その後も詳細聞かれれば分かりやすく説明している。(家族会・面会時) ・2ヶ月に1回、地域推進委員会を実施し、地域の方々への理解を深めている。		・契約書に明確に記述する。 ・地域に向けてグループホームの趣旨や内容をアピールしている。 ・地域の区長、民生委員、町会長、家族代表者の参加にて実施している。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・毎日の散歩時に近所の人への挨拶、話しかけをしている。ケアハウス、サンバレー入所の方が気軽に立ち寄って下さる。 ・近所の方がボランティアとして来て頂いている。		お話ボランティア
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・法人として地域の中で取り組みをしている。(盆踊り、森林ウォークラリー) ・近所にある老健、ケアハウス、デイサービス等各施設の行事、喫茶コーナー等利用して交流している。	○	・森林ウォークラリー ・散歩コースの清掃 ・資源回収

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>・法人全体の取り組みとして認知予防教室、筋力低下予防訓練教室を実施。 ・福祉フェスタへの協力、参加</p>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>・日々のミーティングや、ケアカンファレンス等で話し合い具体的な改善に取り組んでいる。</p>		<p>・評価結果として明らかになった改善点に対し、毎月2項目ずつ改善に向けての意見交換を行っている。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>・グループホームの現状報告をし、理解を深めて頂き、地域との関り方を話合っている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>・法人全体で計画を立て取り組んでいる。 ・法人サービス内容を掲載したパンフレットの配置・配布。</p>		<p>・地域包括支援センターを通じ、これから利用する人達の選択する際の客観的な情報提供を行っている。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>・法人全体での勉強会にて学んでいる。又、必要と思われる人に支援できる体制である。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> <p>・法人全体、各部署の勉強会にて学んでいる。 ・日々のミーティング、カンファレンスにおいても良く話し合われ、防止に努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時に説明し、契約書に示し同意を得ている。</li> <li>・終末ケアについての療養介護共同計画書あり、ご家族と話し合い看取りの同意書作成。</li> </ul>	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様の訴えはその都度対応し改善に向けている。</li> <li>・外部においても苦情相談窓口がある事はお伝えしてある。</li> </ul>	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の家族会にて報告したい。</li> <li>・個々においては面会時、電話にて報告している。</li> <li>・健康状態、受診の際にはその都度報告している。</li> </ul>	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度対応し改善に向けている。</li> <li>・改善事項の結果報告は家族会等で行っている。</li> <li>・外部者に表せる苦情相談窓口がある事は了承済み。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいボックスの設置</li> <li>・家族アンケート（年2回）</li> </ul>
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週月曜日に業務運営会議、毎月のカンファレンスや日々のミーティングにおいても職員の意見や提案の場があり、意見交換している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ユニットリーダー出席</li> <li>・月に1回ヤングの会あり（何についても話合える）</li> </ul>
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じ勤務表作成時に3ユニットにて勤務調整をしている。</li> <li>・状況変化ある時も随時職員確保に努めている。</li> </ul>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の移動は必要最小限である。</li> <li>・他部署職員の採用（夜勤のみ勤務職員）は、以前より馴染みの職員を採用している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動や離職がやむを得ない場合、その時期や引継ぎの面で最善の努力をしている。</li> </ul>
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ全体で取り組んでいる助言、指導資料などの提供、定期的な委員会、勉強会の場がある。</li> <li>・各種講演の参加を促している。</li> </ul>		法人内外の研修会に積極的に参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人研修</li> <li>・資格取得の研修</li> <li>・外部研修の情報提供</li> </ul>
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム協議会の支部会にて他事業所との交流あり、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。（「ケア実践発表会」2/21 各務原市民文化ホール）</li> </ul>		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上司とは何でも相談できる関係があり、安心して働ける職場環境である。（健康館の利用優遇、親睦会、誕生日会、忘年会）</li> </ul>	○	リフレッシュ休暇実現
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価（星取り票、人事考課表）にて把握し、各自の面接にて努力や実績を認め、向上心が持てる様努めている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・星取り票</li> <li>・人事考課</li> <li>・面接</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・法人内、相談センターが窓口となり、入居予定者を検討する。 ・入居前には各種の情報収集し、必ず本人に会い心身の状態把握する。(1週間のお試し期間もある)	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居時に重要事項説明書を基に充分説明はしているが、入居間もない時は、面会時又電話で情報交換の時間を多く持ちご家族のニーズを受け止めている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・受けた相談内容により、上司へ報告、相談し、支援方法をご家族へ伝える。 ・医療機関のバックアップ体制 ・訪問看護師 ・専属看護師 ・法人内関連施設サービス利用	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・生活のリズムに乗せようとはせず環境に慣れて頂く様にしている。他御利用者との仲介も慎重に取り持つ様にしている。 ・馴染みの家具、衣類、茶碗、箸等の持込は可能であり、本人のペースに合わせて見守る。	・グループホームはどんな所か、どんな感じかをご家族の方へ理解して頂ける様、お試し期間を設けている。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・本人の好きな事、物、興味のある事に目を向け、共に楽しめる様、関わり合いながら過ごしている。	・得意な事、役割作りで満足感を持って頂く。(昔の知恵袋を教わる等)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会時にニーズを伺い、御家族との情報交換を蜜に行うよう努めている。</li> <li>・行事の参加を促して一緒に楽しんで頂く。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と御家族との理解、状況把握に温度差が生じない様発信し、満足、信頼を深める事がこれからの課題。</li> </ul>
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人と御家族との関係が持てる様、又、面会の機会が多く持てる様働きかけている。(遠方の御家族へは電話、ハガキ等を勧めている)</li> </ul>		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御家族の了承の基、関係継続の支援実施。</li> <li>・本人の経験や馴染みの物品を用意し、状況に応じて提供している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人=ケアハウス、サンバレー、昔の友人</li> <li>・場=アクティビティ計画を上司へ相談</li> </ul>
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能力レベルに応じた声かけの工夫。その上で、得意、不得意を踏まえそれぞれの出番や、サポートを職員が促し、支え合い生活している。</li> </ul>		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスが終了しても受け皿は連携し、又いつまでも相談できる環境を整えている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスが終了しても、その御家族がボランティアとして活動して下さっている。</li> </ul>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・ニーズ一覧表に日頃の関りの中で訴え、希望に繋がる事を記入しそれをケアプランやアクティビティに生かしている。	・少しでも不安や混乱のない安らいで過ごせる環境を作るようにしている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・バックグラウンド、アセスメント、ケース記録、サマリー等で情報の把握をしつつ、本人、御家族からも今までの生活歴を聴きトリガーシートに記入している。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・利用者一人ひとりの生活リズムを把握し、毎日の申し送りの際に行動やサインの変化がないかを話し合っている。	・出勤時にカルテ、日誌に目を通し把握。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	・まず本人、御家族の意向を伺い、現状の課題について、日々の話し合い、カンファレンスにて検討し、ケアプランを作成している。	○ ・地域の中でその人らしく支援していける様に努力している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・状態変化、レベル低下など状況に合わせてその都度御家族、本人の要望に応じて見直し、プラン変更している。	・状況変化がない時でも毎月のカンファレンスの際に見直し検討している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・特変、状態変化、気付きは必ずカルテに記入し、出勤時にはカルテ等に目を通し、職員間での情報の周知も行っている。		・カルテの見直し、修正記入 ・ニーズの変化あればニーズ一覧表に記入
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・本人や御家族の状況に応じて法人内のサービス利用や通院、送迎など必要な支援は柔軟に行っている。		・バックアップ体制が整っている。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・各務原市や周辺施設への働き掛けを先駆的に取り組んでいる。 ・ボランティアの協力を得ている。		・消防署より、グループホームとしての防災対策について協力を得ている。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・必要に応じて利用できる様に支援している。(入浴、理美容院)		・状態に応じ法人内、相談センターにて話し合い、決定している。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・地域運営推進委員会に地域包括支援センターの職員の参加がある事で情報交換、協力関係が築けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		<p>・状態、本人、御家族の希望があれば他医院への受診も可能である。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>・かかりつけ看護師には常に状態報告し気軽に相談できている。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>・グループホームでの看取りの体制、環境も整っている。 ・ターミナルケアに関し書面での契約あり。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サマリーや行動状況について詳しく記入し、情報提供に努めている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで行ってきた言葉掛けのタイミング、行動のサイン、生活リズム、その他細部に渡り情報提供に努めている。</li> </ul>
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人全体の勉強会にて個人情報保護法について学習している。</li> <li>・家族会の際にも話し合いを持っている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様のプライバシー確保の徹底が出来る様カンファレンスや日頃から具体的に話し合っている。</li> </ul>
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの力に応じ働き掛けをしている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・混乱につながらない様に声掛けの工夫をしている。</li> </ul>
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務や流れとして1日の流れはあるがその中で入居者様それぞれのペースに合わせている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご希望されれば散歩や買い物等すぐに対応できる様支援している。</li> </ul>
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者に合わせ理美容院も選んで頂いている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣類の選択、化粧の支援も行っている。</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・出来る能力に応じ声掛けし、職員と共に調理、盛り付け、配膳、片付けを行っている。 ・職員と入居者が同じテーブルと一緒に食事をしている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・本人、御家族より嗜好品の情報を集めてある。又、職員は一人ひとりの嗜好品を理解しており、本人の状態時間を見て、提供している。	
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・一人ひとりの排泄パターンやサインを把握しトイレ誘導を行っている。 ・日頃より職員間で意見交換し、より良い方法を心掛けている。	・ユニットカンファレンス等でオムツの検討を行っている。 ・便秘対策はなるべく薬を使わない方法を行っている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入居者様の希望に合わせてゆっくりと入って頂いている。	・入浴拒否のある入居者様には声掛けやタイミング等対応の工夫をし、チームプレーによって支援している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・できるだけ日中の活動を促し生活リズムを整えた上、それぞれの生活習慣に合わせて入床して頂いている。	
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・一人ひとりの関りを大切に役割、出番を發揮して頂ける場、環境を整え支援している。	・季節に合った行事計画、実施 (おやつ作り、散歩、喫茶店、外出、ショッピング等)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>・毎月様々な行事、外出が計画され実施している。</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	<p>・安全性に欠く事もある為、検討は十分必要であり、ご家族の協力も得たい。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		<p>・季節ごとの暑中見舞い、年賀状等</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		<p>・面会あれば各居室または、お好きな場所でゆったりと過ごして頂ける様にしている。</p>
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・安全面、防犯面も考えドアは閉まっているが、玄関前に障子戸がありそれを開ける事で、ご自由に戸外へ出られる様援助している。	○	・近所の人にも理解して頂ける働き掛けをしている。 ・利用者様の状況、職員体制を考え日中は開錠に向け努力している。
67	○利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・建物の造りが利用者を見守りやすく考えて建てられており、様子を察知出来やすい。又、プライバシーも配慮されている。		・環境整備しこまめなチェックを行っている。 ・行動パターンの把握により利用者の様子、安全に配慮している。
68	○注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・入居者の行動パターンを把握し状況に応じ危険を回避している。		・危険防止の為の話し合いを行い管理方法の取り決めとしている。
69	○事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・夜間時を想定した訓練は定期的に行っている。 ・事故が発生した場合の状況報告の徹底。		・勉強会、講習会の実施 ・ヒヤリハットを活用し、事故防止策を具体的に検討している。 ・初期対応訓練の実施。
70	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・消防署の協力を得て定期的に訓練している。 ・法人全体、グループホームの勉強会にて急変時の対応を学んでいる。		・様々な事例を挙げ教育訓練を受けている。
71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・消防署の協力、指導にて避難訓練、教育を定期的に行っている。	○	・地域運営委員会にて地域の人々の協力が得られるよう働きかけている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		<p>・職員間での情報の共有</p> <p>・変化、異変時にはかかりつけ看護師に連絡している。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		<p>・薬が変わったり、体調変化があれば様子観察行い記録し、看護師、医師に報告している。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		<p>・自然排便を促す為の工夫をしている。(毎日ヨーグルト摂取、多めの水分補給、繊維質の多い献立、適度な運動等)</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>・好みの物を把握し献立に取り入れ、栄養のバランスに配慮している。</p> <p>・特に水分摂取量少ない方は声掛けし工夫もしている。</p> <p>・水分量のチェック実施。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防委員発足し、各部署より報告している。</li> <li>・ノロウイルスについてはマニュアルがあり、全職員が学習し、予防対策に努めている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見、初期対応の大切さを学んでいる。</li> </ul>
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に夜勤者が冷蔵庫内の食材の残りチェックを行っている。また、調理用具の消毒も毎晩実施している。</li> <li>・調理する際、エプロンは替えている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材係りが主となり指導管理に努めている。又、マニュアルもある。</li> </ul>
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関先にはお花や観葉植物を飾り、親しみやすい景観に努めている。</li> </ul>		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居心地の良い空間作りの為、季節感のあるものや馴染みのある物を入居者様と一緒に飾りつけている。</li> <li>・刺激となる声、音、光、風などへの配慮をしている。</li> </ul>		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自好みの定位置のテーブル席、ソファ席がある。</li> <li>・廊下の端にも一人で過ごせる場所がある。</li> </ul>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		<p>・外気温と大差にならないよう調整している。</p> <p>・生ゴミ、汚物は室外の所定の場所にて管理し、毎日出している。</p>
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		<p>・一人ひとりに合わせた環境にする為、状態変化に応じ見直ししている。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		<p>・混乱の予測をして働き掛けている。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		<p>・お天気の良い日にはベランダにてティータイム、バーベキュー、花火、シャボン玉、散歩、花の水やり、景色を眺める等行っている。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・地域での関りをもちつつ、グループホームならではの関り、安らいだ生活ができ行動障害の減少に努力し、仲間との支えあう関係作りに努めている。
- ・ターミナルケアにおいても体制は整っている。
- ・母体がクリニックであり、医療面でもバックアップ体制が整っている。